

商業部会長報告

第2回商業部会（オープン部会）を6月25日に35名の出席により開催いたしました。

今回は、秋田県建設部港湾空港課と秋田市市民生活部北部市民サービスセンターの方々をゲストに招き、ポートタワーセリオンで秋田県のクルーズ振興施策について説明を受けた後、秋田港クルーズターミナルと土崎みなと歴史伝承館の視察を行いました。

【視察の概要】



秋田港クルーズターミナル視察の様子

（1）秋田港クルーズターミナル

テーマ：秋田県のクルーズ振興について

ゲスト：秋田県建設部港湾空港課 副主幹 吉田和重 氏、主任 中嶋結也 氏

- 行政と民間が一体となってクルーズ船の誘致や円滑な受入れ体制の構築を推進するため、平成29年3月21日にあきたクルーズ振興協議会を設立した。
- 県全体のクルーズ船の寄港は平成20年が年間4回であったのに対し、平成30年は年間22回と増加傾向にある。今年の秋田港への寄港は18回を予定している。
- 昨年の外国クルーズ船客の県内訪問先は、仙北市方面44%、秋田市内35%、男鹿市方面14%、湯沢市方面3%、その他4%となっている。角館や田沢湖方面が大勢を占めるが、秋田市内にも相当数が訪れている。今後は各地域の魅力ある観光資源を有効活用し、寄港効果を全県に波及させる取組みが課題である。
- 県では、平成29年度に秋田港の長期構想を策定し、今年度は港湾計画の改定を予定しており、更なる大型クルーズ船の受入れに向けた港湾内の浚渫工事などを検討中。
- クルーズターミナルはクルーズ船観光客の利便性向上を目的に、県が秋田港中島埠頭に建設を進め、今年4月18日より供用を開始した。外観は白を基調とし、岸壁側は前面ガラス張りで内部からクルーズ船が見渡せ、館内には県産材である秋田杉などを使い、観光案内や土産物販売などの機能を備えている。

（2）土崎みなと歴史伝承館

テーマ：土崎地域の動向について

ゲスト：秋田市市民生活部北部市民サービスセンター 石井 実 氏

館内説明：土崎みなと街づくり協議会 佐藤和佳子 氏

- 土崎地区における地域の歴史と文化を伝承し、地域資源を生かした住民主体の人づくり、まちづくり、賑わいづくりを推進するため、旧秋田市土崎支所跡に今年3月24日開館した。
- 館内には、秋田街道絵巻の実物大タッチパネルや北前船の紹介など、土崎の歴史に関する展示を行っているほか、ユネスコ無形文化遺産に登録された10mを超える曳山の実物や被爆した旧日本石油秋田製油所倉庫の一部を展示している。
- また、指定管理団体である土崎みなと街づくり協議会では、建物の維持管理に加え、自主事業の調整役も果たしており、ギャラリー画家やアーティスト、地域住民の展覧会をはじめ、語り部の講話や朗読会などが日々行われている。
- 平成29年4月に、秋田市を含む11市町が北前船寄港地として日本遺産に認定されたことから、北前船寄港地交流促進事業として、平成30年秋頃までに北前船の模型製作を計画しており、完成後は当該施設内に設置する予定となっている。

以上が商業部会からの報告です。